

平成28年8月29日

風は東から

To be continued...
to be continued...

選手権一次予選 二年連続突破 !!
二次予選で「都ベスト8」を目指す !!

大荒れの“選手権一次予選”は、二年連続で突破 !! 東高の夏は終わらない…

二次予選では、目標の「都ベスト8」を目指す !!

8月16日からスタートした、平成28年度全国高校サッカー選手権大会東京都一次予選は、初戦東大付属に7-0、次戦の難敵八王子東には3-0、代表決定戦の都青山には7-0と勝利し、昨年に引き続き二年連続で選手権二次予選進出を決めました。

大会期間中は、天候不順の中にも関わらず、たくさんの応援ありがとうございました。

昨年の選手権で二次予選に進出してから、新人戦、インターハイに続き、四大会連続での都大会進出となりました。この春の関東大会都大会では、多摩大目黒、実践学園という格上の強豪校と闘い、ベスト16に進出しましたが、インターハイ都大会では強豪早稲田実業の前に完敗…。まだまだ、実力不足であることを再認識させられた大会となりました。また、「T4昇格」を目指して闘っていた地区トップリークも、駒大高、保谷高校に敗れほぼ絶望的となり、残すは、三年間の総決算である選手権予選での「選手権二次予選進出」となりました。

今年の組み合わせは、サッカー強豪校やシード校がいるブロックではありませんでしたが、その分難しさを感じていました。なぜなら、**高校サッカーに絶対はありません!!**

チームの最大の目標を達成するために、この夏は昨年以上の準備をしてきました。「一次予選突破と二次予選で闘うためのチームカアップ」を視野に入れてTRMだけではなく、各地で行われているサッカーFES(湘南・埼玉)にも参戦し、子どもたちは、サッカー面だけではなく精神面もタフになり、ひと回り大きく成長できました。また、大会直前には、組み合わせ表を睨みながら仮想の対戦相手とマッチメイクをし、選手権一次予選に万全の態勢で臨みました。



<選手権一次予選の初戦は、誰もが緊張するもの…。VS東大付属戦>

天候や難敵との闘いを制し、二年連続で二次予選進出を決める！！

今年の選手権一次予選は、各会場で突然の雷雨で試合が中断、順延、中止そして再試合と天候にかなり左右されました。予選は土のグラウンドが多いのですが、代表決定戦で使用された人工芝のグラウンドですら冠水してしまうほどの豪雨もありました。東高も二回戦の**八王子東高校戦**では、ゲーム前にスコールの様な雨が降り、グラウンドコンディションは不良。足場が悪くいつもの様なプレーができずに苦労しましたが、ホームグラウンドだけに言い訳はできません。ゲームは、集中力が高く徹底したサッカーをやる相手の術中にハマりそうになりましたが、大会前のマッチメイクの教訓が効いたのか、最後まで東高サッカーをやりきり、**3-0**と勝利し代表決定戦に進出しました。

台風の影響で一日順延となった代表決定戦は、駒沢第二競技場で行われました。ここは、**TRM**で何度も訪れ、20日も代表決定戦後**TR**を行っているので勝手知ったるグラウンドです。決勝の相手は**都立青山高校**。進学校でありながら三年生の主力メンバーが文武両道を最後まで貫き通し、選手権に臨んでいる意志の強い子どもたちのチームです。

この日も台風の影響でキックオフ時には雨が降り始めましたが、立ち上がり子どもたちは集中力を切らさずに、青山高校ゴールへ迫ります。決定的なチャンスを何度も作りますがゴールには至りません。しかし、前半12分に林田が先制すると、右のクロスから原木がボレーで決め、前半終了間際に混戦から金子が決めて前半を**3-0**で折り返します。後半も、東高ペースで進みますが、何度もオフサイドの判定でゴールは生まれません。それでも、後半20分に鎌田が決めると、林田がこの日**ハットトリック**となるゴールを立て続けに決め、結局**6-0**で勝利し**二年連続**で**二次予選進出**を決めました。

勝利は一瞬、子どもたちの成長は一生！！

二年前の夏の選手権一次予選の第五試合（もちろん大会終了後の**TRM**です）、駒沢会場に毎日現れた府中東高校の子どもたち（現三年生）が、遂に本番の舞台に立ちます。この日を目標に、三年間積み上げてきた成果だと思っています。選手権一次予選で結果を出したことは素晴らしいことですがその喜びは一瞬で過ぎていきます。でも、三年間ここを目標に努力してきたことで、子どもたちは強く、逞しく成長しました。二次予選進出を決め目標の「**ベスト8**」を目指して、一日の**OFF**を挟んで**TR**が再開されました。まだまだ、**終わらない東高の夏!!**子どもたちも更に成長します。

